

令和3年天皇誕生日祝賀レセプション 磯俣秋男総領事（大使）挨拶



ご来賓の皆様、ご列席の皆様：

本日は、ご多用の中、令和3年天皇誕生日祝賀レセプションにご出席を賜り、誠にありがとうございます。今上天皇がご即位されて近く2年になろうとしていますが、昨年は新型コロナウイルス感染症を巡る厳しい状況の中で、この祝賀レセプションを当地で開催することが叶いませんでした。例年とは違った形ではありますが、今年こうして開催に至り、皆様と共に天皇誕生日を祝賀できることを大変うれしく思います。上海市、黄浦区を始め、関係者の皆様のご理解とご支持に感謝申し上げます。

約2週間前の今年3月11日、かつて日本の東北地方において甚大な被害をもたらした東日本大震災の発生から10年を迎えました。被災地の復興は着実に歩みを進めていますが、農水産品に係る風評被害を含めなお様々な課題に直面しており、一刻も早い復興の完成

を祈念したいと思います。今後国境を跨ぐ人的往来の規制が緩和された暁には、是非多くの中国の方々に、観光資源も豊富な現地を訪れて頂き、現地の人々を元気づけて頂ければと思います。

ご列席の皆様、

世界中の至る所で、新型コロナウイルスとの闘いはなお続いています。しかし、我々はコロナとの闘いにおいて多くの犠牲を払いながら進展を続けており、今後各地でのワクチン接種の普及とも相俟って、事態改善の流れが確実なものとなることを期待したいと思います。仮に新型コロナウイルスが完全になくなることはないとしても、その有効なコントロールの下で「新たな日常」が生まれ、定着し、早期に経済社会活動が再び自由に行える状況となることを願っています。トンネルの先に見えてきた灯りを信じ、共に前進を続けたいと思います。あと4か月足らずで、東京オリンピック・パラリンピックの開催も迎えます。安全・安心な形での開催に向けて、皆様の変わらぬご支援を頂ければ幸いです。

私は2019年の初めに当地に着任し、早や2年が過ぎました。着任以来目指してきた幾つかのことの中には、上海及び長江デルタ地域の日中交流における豊富な経験・実績及び強い優位性を一層活用することを念頭に、例えば次のようなものがあります。

一日中経済交流において質の高いパートナーシップを構築すべく、

新たな定期的交流のプラットフォームを立ち上げること；

一日本留学も含めて中国の人々の対日関心を一層喚起し、日中間でより幅広い分野で人的交流を促進すること；

一管轄区域内の在留邦人へ一層きめ細かな領事サービス、また、日系企業の円滑な活動にとって役に立つ支援を提供すること、等です。

時間の関係上、これらの目標についての具体的な取組状況をこの場で一つ一つ紹介することはできませんが、よりよい成果、より具体的な成果を目指して引き続き微力を尽くしていきたいと、今後とも皆様から忌憚なきご意見とご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

ご列席の皆様、

日中両国が国交正常化を実現して、来年で半世紀となります。この間両国の関係は、多くの風雪にも晒されてきました。しかし、これは関係が密接な隣国であればこそ、だと思えます。日本にとって、日中関係が最も重要な二国間関係の一つであることに変わりはありません。立場の異なる問題についてはこれをエスカレートさせないようにコントロールしつつ、可能な実務的協力を着実に推進していくことが大切です。そのために、お互いの姿を客観的に捉え、相互理解に基づく信頼関係を醸成していくとの努力が今なお必要、あるいは今こそ喫緊の課題であると考えます。両国関係の原点とこれまでの歩みを振り返りつつ、次の新たな半世紀に向けて、日中双方の関係者が真摯な努力を払い、真に「新たな時代の日中関係」と呼べるような関

係を切り拓いていけることを切に望みます。今年は、そうしたことに  
思いを巡らせながら、来年の国交正常化50周年という記念すべき  
年に向けて準備を進めていきたいと思ひます。

今年も、早や3ヶ月が過ぎようとしています。総領事館としまして  
は、在留邦人支援、日中交流の促進等にこれからも全力で取り組んで  
参ります。皆様方の変わらぬご支援とご協力を改めてお願い申し上げ  
て、私からの挨拶とさせていただきます。

ご静聴ありがとうございました。

令和3年3月30日

在上海日本国総領事（大使）

磯俣 秋男